

# まち×アート&ブック

だれもがアートを感じられるまち中村橋へ

## ～プロローグ～

まちは美術館・図書館と共演し、  
「美術館のあるまちならではの」個性が輝きを放つまちへと歩み始める

「アートを感じられるまち中村橋」まちづくりへ  
序章(プロローグ)の幕開けです。

令和10年度 練馬区立美術館・貫井図書館が大きくリニューアルオープン



「アートを感じられるまち」として、以下のような将来像を実現します。

## 将来像

### まちのあちこちにアートなスポットがあふれている

駅を降りると、周辺には様々なアートな演出が施されている。また、美術館への動線やまちのあちこちには、アート作品が展示されている。美術館へ向かう人や、美術館でアートを楽しんだ人、このまちで生活している人、活動をしている人は「アートなまちにいる」ことを実感できる。

#### 「中村橋駅周辺まちづくり検討会(※)」におけるご意見

- 駅から美術館へのルートは一体感のあるデザインとして仕掛けができると良い。
- 「まちおこし」としてのアートではなく、まち全体からアートを応援するようなまちづくりを。
- 全体の統一感が大事であり、いくつかの要素によりハーモニーするようなアートディレクションを。
- 中村橋駅に来た人に、アートを感じさせる空間としたい。
- 地域の若いアーティストが活動する場が見えるようにしたい。

(※) 令和4年度から、地域の方々や学識経験者が参加して中村橋駅周辺のまちづくりを検討中

### アートを感じられるまちなみ整備

美術館・図書館の設計者の監修のもと、まちと建物の装飾や整備などを一体的に行います。



道路をインターロッキング舗装した例  
(新宿駅西口プラザ通り)



沿道に作品を設置した例  
(キョセケヤキロードギャラリー)



アートにいざなわれて美術館へ



お店巡りでアート発見!



街路灯をラッピングした例  
(大阪市アメリカ村)



シャッターアートを実施した例  
(日田市駅前通り商店街)

構想によるまちなみ整備の範囲



station

MEJIRO ave.

NAKASUGI st.

133 st.

SENKAWA ave.



アートなまちへようこそ



広場に作品を設置した例  
(上: 東京芸術劇場前  
下: 新宿駅東口駅前広場)



人とアートが交わる場所に



エスカレーター天井に作品を設置した例  
(大江戸線飯田橋駅)



構内の壁に作品を設置した例  
(大江戸線汐留駅)

To be continued . . .

# 美術館・図書館と一体的なまちなみ整備を進めます

美術館・図書館の設計者である平田晃久建築設計事務所が一体的なデザインのまちなみを演出します。

## 平田氏のコメント



この度、美術館・図書館の設計だけでなく、中村橋駅周辺のまちなみ整備にも携われることを大変光栄に思います。

基本設計プロポーザルでは、新しくなる美術館・図書館を、中村橋駅や商店街などと連なる大きな回遊路の一部に位置付けることを提案しました。これにより、美術館・図書館への来訪者とまちとの接点を生み出し、まちの回遊性が高まることが期待できます。さらに、新しくなる美術館・図書館とまちが調和することによって、その効果はより高まるものでしょう。

今から、どのような演出が可能なのか考えるだけでも楽しみです。新しくなる美術館・図書館が拠点となって、駅や商店街、周辺の施設を含めて、「アートを感じられるまち」となるよう、精一杯お手伝いさせていただきます。

## 練馬区立美術館・貫井図書館改築等基本設計候補者選定プロポーザル 提案時資料より抜粋

### 1-B. 商店街や映像と文化の街づくりにつながるアート・コミュニケーションコリドー

美術館と図書館を、中村橋駅、商店街や所々に設けられたアースポットが連なる大きな回遊路（アート・コミュニケーションコリドー）の一部として位置付けます。具体的には、美術館へのメイン動線を商店街を通るルートとし、来訪者と街の接点を強化します。他方で図書館へのメインルートは貫井の人々が慣れ親しんだ南東側に取り、ふたつの入口によって街との回遊を誘発します。これにより「まちづくり部会」を中心としたエリアマネジメントが連携しさまざまなスポットを点在させることで、回遊経路がさらに拡がり、線路を跨いだ動きやより広く商店街を巻き込んだ人の流れが生まれるでしょう。また新設予定の補助133号線を介して、練馬城址公園に計画されているテーマパークと連動した人の流れも想定できます。



### 1-C. 公園や駅、小学校、区民センターとつながる

本計画は、公園のオープンスペースを立体的に倍増させるとともに、周辺施設とのつながりも重要視します。すなわち、電車利用者の視点から、建物の見え方を特徴あるものにした上で、ホームや駅構内等に、小屋のようなアースポースを設置して、「アート・コミュニケーションコリドー」に組み入れます。また、小学校とのつながりを考え図書スペース・ブックアートキッズスペース・公園をつなげて利用できるようにします。



## お問い合わせ

練馬区 地域文化部 美術館再整備まちづくり担当課  
〒176-8501 練馬区豊玉北6-12-1 練馬区役所本庁舎16階  
電話：03-5984-1288 FAX：03-5984-1226

令和6年(2024年)2月